をと回して打立られい利家父子恢義者て後馬
小むちを揚け市森へと急ぎれり
市森合戦並長仰寺焼牛三仰ノ事
彩て全原軍勢部隊ノ近く成りしハ俗を廣色
へ打出し相当なりけと憲の嶋ヶ丘に拾小枝を
会津ならし一旗市森の南方小石ひを
見て黎明の時ひけり横雲い南の山の端小
たをひき紅きり照たの日も出ぬ諸軍
発のよと凱と下し野ヶ村主水佐ヶ新屋ノ
ら攻口へ推寄せて一声小時の声と吹と上る越中

勢見ひとしきり津けれい上を下へと騒動と佐て
新屋野ヶ村主水正高ヶ後詰あんと見ひ設
けし事けれハ地を〻く士卒を静めるを後和
持ヶ時小前田小姓富田宗長の尉ハ今日の
一番陣い示けりと高名小陣を入る北村宗長尉
山崎長右衛門前田宗長野村傳兵衛富田小こ
れ〻ることを安ヶ〻ぬと〻んて小陣提寄て〻る
佐〻木庄助進て〻を〻めて〻ん小後て野ヶ村
主水小川鶴ヶ仰木庄市兵衛入野平右衛尉矢
潟四郎右衛尉姫ヶ尉て逆兵四百余陣食を仰て